

新しい道空間づくりに関わる事例等

参考資料

平成17年12月7日

1. 新たな道空間の多面的な活用例

①道の駅

- 道に新たな機能を付加する役割を担い、現在では、全国830箇所に設置されている
- 道の駅登録数は増加を続けており、地域における新たな施設として重要視されていることが伺える

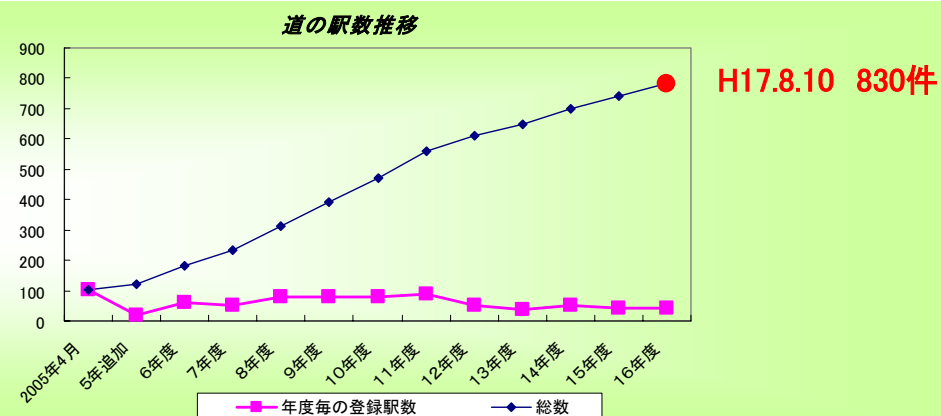
【概要】

- 道路利用者や地域住民などに多様なサービスを提供することを目的に、全国に設置されている



【設置数】

- 道の駅は、毎年登録され、総数は年々増加している



■道の駅は、休憩機能、情報発信機能をはじめ、地域の資源を活用した多種多様な機能を道に付加する役割を果たしている

【付加機能の例】

＜地域産業の場としての機能＞



＜休憩の場としての機能＞



＜情報発信の場としての機能＞



＜レクリエーションの場としての機能＞



＜体験・学習の場としての機能＞



②未知普請

【活動例】

■道をきれいに維持する清掃活動



■道の使い方を伝える情報交流や情報発信等の活動



ミュージカルの告知ポスター



シンポジウム



広報パンフレット

③ ボランティアサポートプログラム(アダプトプログラム)

- 地域住民や地元企業が参加し、清掃や植栽活動を行う仕組みが構築されている
- 参加団体は増加を続けており、参加者にも好評を得ている

【活動例】

■ 地域の企業・ボランティア団体による清掃・植栽活動



地元企業による道の美化活動と企業協力を示す看板

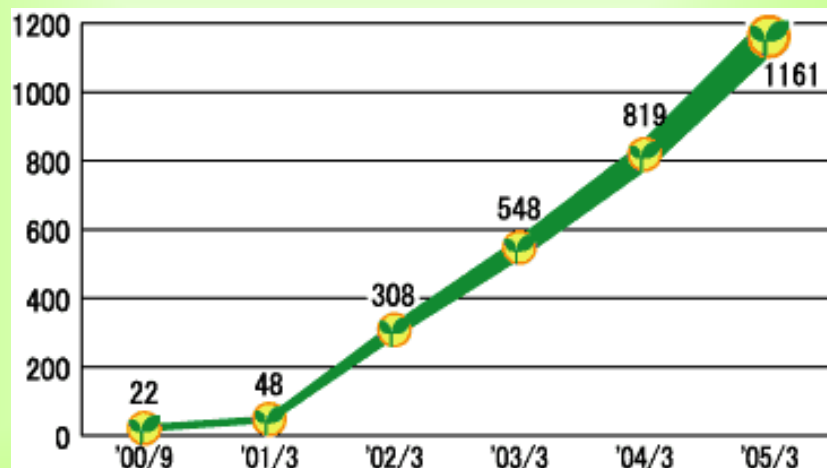


地域住民による清掃・植栽活動



【参加団体数】

■ 参加団体は増加している。



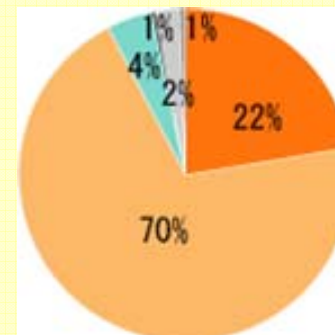
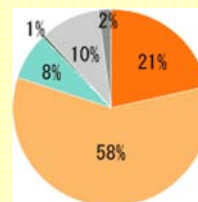
【参加者の感想】

■ 活動に対する満足度は高い。

Q1. 活動に対する満足度は、いかがですか？

H13年(195件)

H15年(527件)



- a. 非常に満足している
- b. ほぼ満足している
- c. やや不満
- d. 非常に不満
- e. 分からない
- 無回答

④道守九州会議

■NPOや市民団体・企業・個人などの方々がネットワークを形成し、情報交流や情報発信などの活動を通じ、道への関心や愛護の心を育み、道を守り育てる活動の普及を目指す

【活動例】

■身近な道を対象に活動を実施
(例:清掃活動)



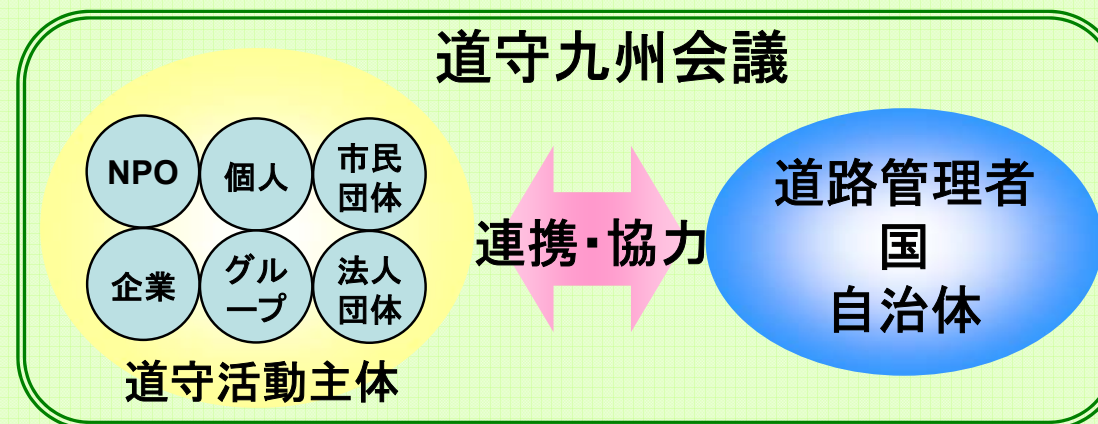
■地域住民が出来る範囲で活動を実施
(例:植栽活動)



【取組体制】

■地域と行政が連携した取組み体制

■地域の多様な主体が取組みに参加する体制



⑤ 全国みちづくり女性団体交流会議

■ みちづくりに関わる全国の女性団体が集まり、女性の視点からみちづくりについて語り、交流を深める場として開催されている

